

★**わが幼き日**(10頁)…今月は、福島合研(新型コロナで中止)で記念講演が予定されていた **安田 菜津紀** さん(フォトジャーナリスト)

「幼いころの思い出、と言われて私が真っ先に思い浮かべるのは、母が続けてくれた絵本の読み聞かせの時間だ」「絵本の読み聞かせがどう今の自分を築いてくれたのかは、大人になってから実感することが多くなった」「幼いころにふれた絵本の数々は、ときには心の薬に、ときには迷ったときの指針となってくれる」。

★**読者のページ**(12頁～)コロナについての投稿がほとんどです。保育者で母親の三重県のちはるさんは「登園自粛で定員の半分くらいが休んでいますが、家庭での保育にも限度があるのでは?」「国や自治体は、このコロナをきっかけにいろんなことを見直してくれたらいいのにとおもいます」「保育者の存在は本当に大切なんですけど…縁の下の力持ち?だけで片付けないでほしい!」(13頁下段～)

★8月号の特集は、保護者に保育がつたわってる?

…6月になり、登園自粛が解けました。新型コロナ収束後を展望して、保育園と保護者の関係づくりを考える特集です

◎**実践**(24頁～)：京都市・朱一保育園の見瀬さんは、①「伝えた」と「伝わった」の違いは大きい。②予想は実際ではない、「あー、そうやったんか。わかった」と、互いにわかりあい、共感しあえることがとても重要。③「保護者へ」の前に自分たちの集団育ちを。④話せて、聞きあって、共感できる場をと。

◎**実践**(29頁～)：横浜市・小雀みどり保育園の荒井さんは、常に、保護者に保育と子どもの姿をていねいに伝え、子どもを真ん中に、これからも共に育ちあっていきたいとしますと。

◎**実践**(34頁～)：外国籍の家庭が多い保育園に勤務する四日市市・よっかいち男性保育士会の村田さんは、「〇〇だから」と決めつけるのではなく、その人の文化を受けとめられるように、保育の場だけでなく違う職種の人やいろんな人とかかわり、自分の引き出しを広げることも大事だと思ひますと。

◎**小論**(39頁～)：**池添 素** (NPO法人福祉広場)さんは、①「保護者に保育が伝わってる?」というテーマは、「伝わっているはず」がそうではなかったという体験をすることが増えたからだと思ひます。②新型コロナのために、児童発達支援事業所に通所できない家庭への電話の事例から、こちらが「何かを伝えよう」という目的をもつと、相手とのコミュニケーションはうまくいかないけれど、お母さんたちの困りごとや悩みを「聞き取ろう」という姿勢で話すと、話が広がり、たくさんの気持ちが伝わってくるのだということを実感しました。③今考えるべ

きことは、新型コロナが収束を迎えたときに、元の生活に戻れるかどうかではなく、もっと望ましい暮らしを希求することではないでしょうか。とりわけ、何かを伝えるためには、伝えたい関係がなければ、伝わらないことを再確認しませんか。ポストコロナ社会へ、保育や子育てを通して、子どもを大切にする社会の構築をめざすことだと考えますと、保育とは何かを改めて再考するとともに、保育者と保護者の関係づくりを提起されています。

◎連載：沖縄の子ども食堂から⑤(54 頁～) 新型コロナで自宅待機中の子どもたちの「ヒマ」ということばの裏側には、伝えたいことがあり、それを受けとめるスタッフがいることが大切だということ、学童保育から気づいたと。

◎連載：もっと気楽に家事・子育て⑤(60 頁～) 「思考の整理」②持っているあたりまえ？をチェックします。

◎連載：おばちゃん、保育園であそぶ⑤(64 頁～) 「ごっこあそび」が大好きな三歳児の楽しい様子が目に浮かびます。

◎連載：雨宮処凜の少～し力をぬいて④(66 頁～) 新型コロナ災害の中届くフリーター・非正規サービスで働く女性・ネットカフェ難民からの SOS と、自己責任社会からたすけあい社会に変わればという小さな希望を考えます。

◎連載：2歳児の発達と保育⑤(80 頁～) 二歳児のコミュニケーションをどのようにおとなは理解し、支えていくことができるのかについて考えます。

◎連載：保育、こんなときどうする？どう考える？②(88 頁～)

保育のなかの「みんな一緒に」を考えます。一緒に参加しない子どもがいたときに、なんとか参加できるように苦心して、その働きかけに子どもが応じるとほっとするけれど、それでよいのか、子どもの気持ちは？

全国の『ちいさいなかま』読者の感想です・・・あなたの感想を待ってます

◎保育士にとっては保護者の生の声を聞くことがとても大切です。働きながら家事をしながら、子育てをされる保護者の声をもっと聞き、現場で生かしたいです。(20代・保育者)

◎移動の際には、必ず『ちいさいなかま』をバッグに入れて読むようにしています。(50代・保育者)

◎初めて読みました。保護者の立場になったので、両方の“あるある”を大変興味深く読んで、もっと読んでいきたいと思いました。(30代・保育者・母親)

◎保育士1年目です。2歳児の特集があり、とてもうれしいです。日々の保育の中での子どもの姿をてらし合わせながら読ませていただき、そして勉強させていただいています。(20代・保育者)